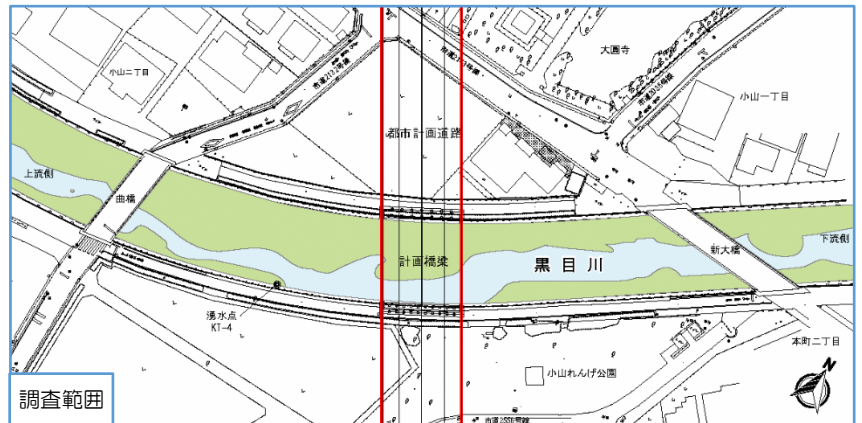


東村山都市計画道路3・4・13号線整備事業に伴い 黒目川で自然環境調査を実施しました。

市では、東村山都市計画道路3・4・13号線の整備を自然環境に配慮し、適切に進めるため、都市計画道路と黒目川が交差する付近で令和3年5月に、自然環境調査を実施しました。

黒目川における橋梁整備にあたりましては自然環境への影響を適切に把握し、希少種に対して必要な保全措置を講じ、進めてまいります。



【植物調査（植物相）】

調査方法 調査範囲を踏査し、生育する全ての植物を記録

調査結果 46科111種の植物を確認

希少種 希少種は確認されませんでした

番号	科名	種名	番号	科名	種名	番号	科名	種名
1	トクサ科	スギナ	40	ニレ科	ケヤキ	79	ナス科	クコ
2	イノモトソウ科	ホウライシダ	41	アサ科	ムクノキ	80		アメリカイヌホオズキ
3		イノモトソウ	42		エノキ	81	ムラサキ科	キュウリグサ
4	メシタ科	イヌワラビ	43		カナムグラ	82	オオバコ科	イケノミズハコベ
5		シケシダ	44	クワ科	マグワ	83		ツタバウンラン
6	オシダ科	オニヤブソテツ	45	イラクサ科	ヤブマオ	84		ヘラオオバコ
7	ドクダミ科	ドクダミ	46	バラ科	ハビイチゴ	85		オオカワヂシャ
8	サトイモ科	サトイモ	47		ノイバラ	86		タチイヌノフグリ
9	トチカガミ科	オオカナダモ	48		ユキヤナギ	87	シソ科	トウバナ
10	ヤマノイモ科	ナガイモ	49	クルミ科	オニグルミ	88		オランダハッカ
11	ヒガンバナ科	ノビル	50	ニシキギ科	ツルウメドモキ	89	キク科	オオバタクサ
12		タマスタレ	51	カタバミ科	オッタチカタバミ	90		ヨモギ
13	ツククサ科	ツククサ	52	トウダイグサ科	アカメガシワ	91		アメリカセンダングサ
14		ノハカタカラクサ	53	ヤナギ科	タチヤナギ	92		コセンダングサ
15	カヤツリグサ科	マスカサ	54	フウロソウ科	アメリカフウロ	93		ヤグルマギク
16		ヤブスゲ	55	アカバナ科	メマツヨイグサ	94		オオキンケイギク
17		メリケンガヤツリ	56		コマツヨイグサ	95		ヒメジョオン
18	イネ科	カラスムギ	57		ユウゲショウ	96		アレチノギク
19		ジュズダマ	58	アオイ科	ゼニアオイ	97		ヒメムカシヨモギ
20		カモジグサ	59	アブラナ科	カラシナ	98		ハルジオン
21		ネスミムギ	60		マメグンバイナスナ	99		オオアレチノギク
22		オギ	61		オランダカラシ	100		ハキダメギク
23		クサヨシ	62		イヌガラシ	101		ウラボシコチコグサ
24		ヨシ	63	タデ科	イタドリ	102		クイモ
25		ツルヨシ	64		ヤナギタデ	103		セイタカアワダチソウ
26		スズメノカタビラ	65		オオイヌタデ	104		オニノゲシ
27		オオスズメノカタビラ	66		ポントクタデ	105		ノゲシ
28		タマオオスズメノカタビラ	67		ミソソバ	106		セイヨウタンポポ
29		オニウシノケグサ	68		アレチギシギシ	107		アオオニタビラコ
30		セイバンモロコシ	69		ナガバギシギシ	108	ウコギ科	カナリーキツタ
31	ケシ科	ナガミヒナゲシ	70		エゾノギシギシ	109	セリ科	セリ
32	キンボウゲ科	ケキツネノボタン	71	ナデシコ科	ノミノツツリ	110		ヤブヅラミ
33	パンケイソウ科	ツルマンネングサ	72		コハコベ	111		オヤブヅラミ
34	ブドウ科	ノブドウ	73	ヒユ科	ヒナタイノコツチ			
35		エビツル	74	オシロイバナ科	オシロイバナ			
36	マメ科	ムラサキツメクサ	75	サクラソウ科	コナスビ			
37		シロツメクサ	76	アカネ科	ヤエムグラ			
38		ヤバスエンドウ	77	キョウチクトウ科	ツルニチニチソウ			
39		ナヨクサフジ	78	ヒルガオ科	ヒルガオ			
計						46科		111種

【魚類調査】

調査方法 タモ網やサデ網等を用いた捕獲による調査

調査結果 3科6種類の魚類を確認

希少種 環境省及び東京都が公表している、絶滅のおそれのある野生生物のリストである「レッドリスト」に掲載されている、以下の3種の希少種を確認

- ・アブラハヤ（東京都レッドリスト2020のVU（絶滅危惧Ⅱ類）に該当）
- ・オイカワ（東京都レッドリスト2020のDD*¹（情報不足）に該当）
- ・ミナミメダカ（環境省レッドリスト2020のVU（絶滅危惧Ⅱ類）、東京都レッドリスト2020のCR（絶滅危惧ⅠA類）に該当）

番号	科名	種名
1	コイ科	コイ
2		アブラハヤ
3		オイカワ
4		カワムツ
5	メダカ科	ミナミメダカ
6	ハゼ科	カワヨシノボリ

※1 環境条件の変化によって、絶滅危惧の категория に移行し得るが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの

※ 希少種保護の観点から生息地は非公表

希少種について

●アブラハヤは、体型が紡錘形で、口ひげはなく、鱗が細かく体表のぬめりが強いコイ科の魚です。河川の中・上流域の淵や淀みに生息しています。



●オイカワは、背部は淡褐色、腹部と体側は銀白色で、体側に赤みを帯びた7~10個ぐらいの小さな横斑が並ぶコイ科の魚です。雄の婚姻色はきわめて明瞭で、体側に鮮やかな赤や青緑色を帯びるのが特徴です。河川中・下流域および湖沼に生息しています。



●ミナミメダカは、体型は紡錘形で、頭部はやや扁平したメダカ科の魚です。尾びれは湾入せず目が大きく、口は上を向き小さく口ひげがないのが特徴です。流れの緩やかな河川や水路などに生息しています。



希少種の保全について

橋梁工事実施の前に現地調査を行い、アブラハヤ等を確認した場合に、保全措置として類似移動候補地へ移動します。

※ 希少種保護の観点から類似移動候補地は非公表

手順	作業内容
現地調査	タモ網やサデ網等を使用し、計画橋梁渡河部付近を春季または秋季に調査します。
捕獲後	アブラハヤ等を捕獲した場合には、水槽等にエアレーションを施した状態で管理します。 使用する水は現場の水とし、水温の変化に注意して日陰にて管理します。捕獲から移動までは、あまり時間をかけないで行います。
移動時	水温に大きな変化がないことを確認して、対象個体をゆっくり放流します。 水温に大きな差が生じている場合は、ビニール袋等に移動元の水と対象魚を移して、移動先に浮かべて1時間程度放置し、水温の差が少ないことを確認し放流します。